

コンプライアンスに関する意識向上について

(一財)長野県バレーボール協会では、スローガンに「体罰・暴力・セクハラのない楽しく、魅力あるバレーボールを目指す。」を掲げ、フェアプレーの精神に基づいて常に品位と名誉を重んじ、他の範となるべく行動をお願いして参りました。

しかしながらすでに紙面、テレビ等でご存知の通り松本国際高等学校名誉校長である男子バレーボール部監督壬生義文氏が、体罰を指摘されるようなことがあったとして、辞職をしていたと報じられました。岡谷工業、創造学園を通して9回の全校制覇を成し遂げ、今年の福井国体でも3位と素晴らしい結果を出し、長野県のバレーボールのレベルを上げた功労者であり、誠に残念でなりません。

協会に関わる全員が自分自身の事として受け止め、二度と起こさぬためには互いの厳しい関わりが必要になろうかと存じます。スローガンにある、「体罰・暴力・セクハラ」に関わる情報がありましたら直ちに倫理委員会に報告頂きたいと強く思います。

今回の事案でファンのバレーボール離れが起きぬよう、各人一層の精進を重ねながら大会運営、指導等に邁進する様、心掛けてまいります。

(一財)長野県バレーボール協会
会 長 船木 正也

(一財)長野県バレーボール協会
倫理委員会委員長 江村 恵一